

昭和48年度 関口 豊治

町内の世帯数が600戸を超え、自治会事務も大変になりました。

また、常使い制度（前出）も大変なので、他の町で実施しているよ

うに、事務員を採用したらどうか、ということになりました。そして、町内で募集したところ、応募者が数人あったので、面接試験を行いました。

また、このころ、道路舗装がしきりに行われましたが、3%の負担金があり、これは自治会で負担しました。



昭和49年度 高橋 秋雄



この年は669世帯、組数40組となりました。そして、事務員に木下良子さんを採用しました。

また、この年に公民館運営委員会も設置しました。

この年に団地で納涼大会が実施されています。

さらに、団地に雑排水用の下水道が追加埋設されることになり、公民館で説明会を持ちました。市の説明ですと1戸当りの負担金は前回並とのことでしたが、団地の会長の補足説明によると10,800円だったとのことでした。

○アラブ石油輸出国機構（OPEC）が各国の対イスラエル政策転換を要求して原油供給削減を行った。このため石油危機となりチリ紙パニックなど、オイルショックとなった。

○週休2日制がひろがり、余暇利用が話題となり始めた。

○日航機がアムステルダムで乗取られドバイ空港に着陸したが爆発事故をおこし、女性犯人が死亡した。

○祝日法が改正になり、日曜と祝日が重なる場合は翌日を休日とすることになった。

○流行語「じっと我まんの子であった」、「ちょっとだけよ」

○石油ショック以来諸物価が高騰したため政府は国民生活安定緊急措置法に基づいて灯油・ガス・チリ紙などの標準価格を決めた。

○大企業をねらう連続爆破事件が起きた。

○不況が深刻化し、経済成長率は実質マイナスとなった。企業の倒産が続出した。

○金脈問題追求で田中首相が退陣、三木内閣が発足した。

この年、自治会費の率（昭和39年参照）を資産割20%、市民税割20%、均等割50%、見立割10%と、均等割の比率を高めることを協議して翌年度へ申し送りました。

この年度の街燈数は51燈でした。この年度の50年2月1日に南橋体協が発足しております。また、南橋新公民館がこの年に着工しております。

翌年、自治会長をして頂く予定だった金井保三郎さんが体調を悪くしたため、総会では会長と副会長を選びました。

昭和50年度 小池 国男

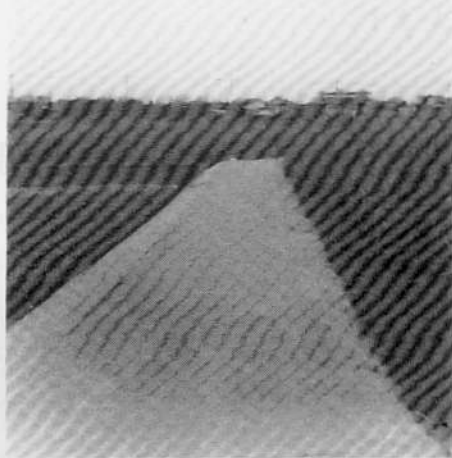
昔は荒牧でも納涼大会があったのですが、久しくとだえておりましたところ、前年度に団地で実施したので、団地の役員と協議して町全体のものとして実施しました。



この年、9月に体協荒牧支部を結成しましたが、この年は、支部長は自治会長が兼任しました。そして町内第1回のバレーボール大会を実施しました。

この年、新生活運動を実施することになり香奠は1,000円以内とすることなど申し合わせました。

従来の自治会費の賦課方式には異論が多い



桃木川添いの通学路

- 不況がますます深刻化し、完全失業者は108万人と8年ぶりに100万人を突破した。ソニーは不況対策から8,000人の一時帰休を行うと発表した。
- 山陽新幹線が博多まで開通した。
- この年、暴走族が全国各地であばれ出した。
- 沖縄海洋博が行れた。
- 日本赤軍の5人がマレーシアでアメリカ、スウェーデンの大使館を占拠し、日本に拘留服役中の7人の赤軍派の釈放を要求した。政府は人道問題として「超法規的解決」にふみきり、出国を拒否した2人を除く5人を釈放出国を認めた。服役中の者を過激派の要求で釈放したのは初めてで、大きな議論を呼んだ。

ので、12月に検討会を開き、固定資産のある者、月額300円、ない者、200円と決め、新年度から実施することになりました。

また、この年、母子保健推進委員会が発足しています。

昭和51年度

萩原 敏 男

この年から体協が本格的に活動し始め、バレーボール、ソフトボール、卓球、町内運動会、マラソン大会と多種目をこなしました。



また、南橘消防後援会が発足しました。校外補導を組長も参加して行うことになったのもこの年からです。

団地の戸数も増えたので神社当番をどうかとの話が氏子総代からあったため、団地でアンケートをとったところ、賛成10%、反対36%であったと報告がありました。

昭和52年度

小 池 利 二

この年から老人福祉対策活動が始まり、老人学級も公民館で行われるようになりました。

また、青少年健全育成会と、公民館運営委員は組長全員が当ることになりました。



○文部省は小・中・高の校務分掌のためとして主任制度を設けた。

○この年の流行語「あんな、あの子の何なのさ」、「赤ヘル軍団」、「オヨヨ」、「ちかれたびー」

○この年の流行歌「昭和枯れすすき」外。

○ソ連のグルムイコ外相が来日したが北方領土問題についての進展はなかった。

○国鉄運賃・電報・電話・郵便料金・電気・ガス・米価・酒・医療費・NHK受信料など公共の料金が軒なみ値上がりし、国民生活を圧迫した。

○五つ子が誕生し、明るいニュースとなった。

○東北・北海道地方を戦後最大の冷害がおそい、これらの地方では深刻な問題となった。

○警視庁にロッキード事件特別捜査本部が設けられた。

○福田内閣が成立した。

○この年の流行歌「およげたいやきくん」

○大蔵省の発表によると、わが国の国際収支は5年ぶりに黒字となった。

○円高が進行し、1ドル230円台となったが円高不況で、企業の倒産が続いた。

○青酸コーラ、青酸チョコなど、無差別殺人事件が相次いで、人びとの不安をかった。

○医科大学の寄付金による裏口入学、大学入

日赤の会費の最低がこの年から300円になりました。

町内運動会に70才以上を招待したのもこのころからです。町内一斉清掃を毎月第1日曜に行うことにしたのもこの年でした。

この年、防犯燈を11燈増やし、合計81燈になりました。

公民館へピンク電話を入れ、申込金が7万円、工事費が約2万円でした。

この年度に市議員が2名当選しました。

昭和53年度 養田隆次郎



老人対策の芽生え
昭和53年、前回より
又11年たった。

世帯数967戸、組長
57名（内団地11名）、
正に大世帯となった。

幸に49年度より、事務員を採用していた（木下良子氏）。

この年は先ず、老人福祉対策協議会の発会であった。乃ち65才以上市より、千円也が、戴ける事となり、市の希望により、民生委員、長寿会、婦人会等、其の他各団体の協力を得、自治会長の要請にて実現されたのであった。事業として、(1)高齢者学級の継続（昨年は市の委託により行れた）、(2)町内運動会に全員招待（昼食代）、(3)寝たきり老人の慰問見舞、(4)ゲートボールの実現は次年度よりとなった。次に地区代表制度の実現、又自治会会員名簿（第一回）の作成に取掛ったのは11月であった。其の他久しく懸案となっていた一本

試の不正などが続出した。

○親や先生にしかれた小学生が自殺するという事件が続出した。

○北海道の有珠山が34年ぶりに爆発した。

○巨人の王選手が本塁打世界最高記録756号を9月3日に達成した。

○日航機がインドで赤軍派に乗取られ、服役中の9人の釈放を要求され、政府は3人を除き6人を釈放、国外脱出を認めた。

○円高、貿易黒字でありながら不況が定着し相変わらず企業の倒産が続いた年であった。

○サラリーマン、主婦、学生などが金融機関から金を借り、利子がかさみ、返済できずに家出や自殺する事件が多発し、サラ金の利子や悪質な業者の出現が社会問題化してきた。この年から「サラ金」という言葉が流行語になった。

○九州地方では猛暑と雨なし日が連続して水不足となり、給水制限が続ぎ、根本的な水対策が要求された。

○東京、世田谷のアパートで群馬県長野原町の女子大生が警察官に乱暴された上、殺された事件は、多くの国民に不安を与えた。

○伊豆半島を中心に、関東、東海地方にマグニチュード7の地震がおそい、死者25人、負傷者多数を出した。この際に余震情報を出したのが「2時間以内に大地震が起きる」というデマとなって流れ、パニック状態となった。

橋西の排水工事の完成を見たのであった。又老人センターの改修工事の起工式があり、地元自治会長として参加した。

昭和54年度 高橋 茂

この年には世帯数も増え、印刷物も多くなったので回転式の印刷機を購入しました。また、区画整理の第一回説明会を行いました。



また、自治会の会則と会費の改正を行っております。この年、子供会旗も購入しております。ゲートボール大会（第1回）が行われました。

この年、受け継いだ世帯数は972戸で、人口は3,650名でしたが、1,000戸を超えました。

この年から地区代表会議を時おり開催するようになりました。

また、青少年健全育成会々則と、公民館運営委員会規則の改正を行いました。また、この年から「荒牧だより」を発行しました。

防犯灯は13灯新設しました。また、この年に八木節保存会、商工親睦会、青年会などが発足しております。

昭和55年度 高橋 勇

この年に自治会長をする予定だった関口行雄さんが体調をこわしたために、副会長を経験せずに、いきなり自治会長に押し出され、

○この年、「ナンチャッテ」が流行した。

○この年は原油が値上がりし、円安となったため国民経済は苦しくなり、省エネの気運が高まった。

○東名・日本坂トンネルで大事故があった。

○この年、東京サミットが行われた。

○この年の総選挙は消費型付加価値税を導入する動きがあったため、自民が敗北した。

○大平内閣が誕生した。

○千葉の神野寺で飼っていたトラが逃げて大さわぎとなった。

○パンダのランランが死亡した。

○台風20号が日本を縦断した。

○世界最長の大清水トンネル内で従業員16人が死亡するという事故があった。

○阿蘇・木曾御岳が爆発した。

日輪寺からみた荒牧



「困った」というのが実感です。しかし、この町には、地区代表という強力な自治会役員が10名もおりまして、



いろんな事業を先頭に立って消化してくれるので本当に助かりました。この年の最大のものは、区画整理への対応でした。未知の事業への話し合いは一進一退をしながらも一定の方向が出そうになりました。

この年、荒牧川原線の道路を20mに拡幅する話がでて、説明会がもたれました。

また、青少年会館ができることになりましたが、交通、排水などに問題があり、教育長に申し入れをしました。

また、この年度に市議選で2名が当選しました。

昭和56年度

栗林和男



この年の最大の事業は、区画整理協議会の発足でした。何回も何回も話し合いをもってようやく8月に発足いたしました。

また、前年度では公民館の便所を増設しましたが、この年には公民館の建物の改修と畳の表替えを行っています。

青少年会館の建築問題については、前年に引き続き何回も座談会を行いました。その結果道路の拡幅、下水管の埋設などが実施される

○この年は企業の倒産が年間18,000件を超え
るというきびしい年であった。

○大平首相が急死した。

○巨人長島が辞任、王も現役を引退した。

○鈴木新内閣が発足した。

○静岡駅前地下街で大爆発があった。

○モスクワ五輪に日本は不参加

○関越自動車道が前橋まで開通した。

○前橋工が2年連続甲子園に出場した。

○異常冷夏となり農産物に痛手を負った。

○山口百恵が芸能界を引退。

○旧前高を借りて初の県立女子大入試行われる

○上越新幹線用中山トンネルで異常出水

○2浪の息子が両親を惨殺する事件があった。

○企業の倒産が相次いだ年であった。

○北炭夕張新鉱でガス惨事があり93人が犠牲になった。

○神戸でポートピアが行われた。

○福井教授がノーベル賞を受賞

○三和銀行でオンライン詐欺事件があった。

○ローマ法王が初来日した。

○東京で通り魔、母子ら4人刺殺される。

○前信群馬町支店に猟銃男、700万円奪う。

○千代の富士が横綱に昇進。

○関越トンネルの補助坑が貫通した。

○瀬古がボストンマラソンで優勝。

ことになりました。

また、この年に町政30年誌発行の準備会を行いました。

昭和57年度 山田 光一

世帯数 1,187戸

人口 女2,148人

男2,197人

合計 4,345人

地区代表 上宿 下宿

新田東 中荒牧



団地 各地区2名 合計10名 組長65名

4月28日 58国体民泊協力家庭意向調査

民泊家庭 33戸 宿泊人数 123人

6月5日 青少年会館竣工式

荒牧町自治会地区代表以上出席

地番 荒牧町2番地の12

敷地面積 8,622m² (市有地)

建面積 1,280m² (延面積2,736m²)

構造 鉄筋コンクリート造り3階建

付属施設 駐車場80台

運動場その他 1,500m²

総工費 452,100千円

7月17日 荒牧小開校10周年式典

関係町自治会長及びPTA出席

昭和58年度 小池 鉄雄

待望の第38回国民体育大会が、本市を主会場として県内27市町村で、40競技が行われました。そして「あかぎ国体」をテーマに、又

○水上町のサリドマイド少年が北アルプスで大滑降をした。

○国鉄足尾線が廃止対象になった。

○物価の上昇は低かったが、世界的な景気の後退で輸出入も減少、企業倒産も多く、完全失業者が165万人にのぼった年であった。

○ホテルニュージャパンで火災惨事。

○羽田沖で日航機が墜落した。

○鈴木首相が退陣、中曽根内閣が発足

○東北・上越新幹線が開業した。

○ニセ5000円札が大量に作られた(大分)

○プロ野球、西武が初の日本一になった。

○500円硬貨が発行になった。

○北炭夕張が閉山した。

○台風10号が各地で暴れた。

○中国の日本人孤児60人が肉親捜しに来日。

○参議院全国区が比例代表制になった。

○公務員のベースアップが凍結された。

○田中元首相に有罪判決があった。

○大韓航空機がソ連上空で撃墜された。

○日本海中部地震、東北地方は大被害。

「風に向かって走ろう」をスローガンに、又希望と友愛の祭典第19回愛のあかぎ大会が行われました。あかぎ国体に於ては、国体史



上初の大量得点で天皇、皇后両賜杯を手にしました。愛のあかぎ大会では、不自由な身体で全力を尽くしての競技には、感動する場面も数々ありました。荒牧小の鼓隊も万場拍手で堂々と演技をはたし観客の心を圧倒してくれました。子供達にとっても生涯忘れ得ぬことでありましょう。又町内の婦人の有志の方々には2年間の特訓を受けた成果を、夏秋の開閉会式に民謡おどりを立派に披露してくれました。又民泊家庭の皆さんには選手監督の宿泊に御協力いただき献身的な奉仕をいただき心から敬意と感謝の気持を表したいと思えます。ここに御協力いただいた方々をご紹介します。

関口金次郎 小池国男 石田明雄
角田利幸 矢端祐三 高橋邦男
都丸弘 山田勝己 都丸勝
宮田秀樹 河野ヒサ 山岸正毅
石田弘 桑原正 橋本好生
小泉勲 金井幸二 雪竹靖衛
三橋紀夫 春山義夫 餅田良一
内田忠行 湯浅重夫 大奏英明
都丸光治 根岸邦兵 真下雅太郎
久我久雄 阿久沢和枝 井上信二
山田知弘 渡辺重郎

- 三宅島で大噴火があった。
- レーガン大統領が来日した。
- 朝のドラマ「おしん」がブームになった。
- 初の体外受精児が誕生した。
- 「つま恋」でプロパンが爆発、14人死亡。
- 青函トンネルが貫通。

以上32名の方々です。

町内に宿泊した県名は、宮城県、青森県、秋田県、岩手県、福島県、兵庫県の各選手団で人員は134名でした。

58年度の荒牧町自治会の主な行事としては、

7月28日 民泊協力員を選出し次の方々が民泊家庭へ選手等の案内をいたしました。

丸山孝利 石原巳代次 関口一三
柄沢利夫 養田和夫 羽子田長寿
関口弥兵衛 山田清

9月16日 民生児童委員の任期満了のため選考委員会を開催、選考委員、自治会3役、地区代表、団体長、民生児童委員総務の皆さんにより次の方々が選ばれました。

都丸静江 高橋喜作 小池国雄
山田光一 佐藤はじめ 古谷あや子の6名の方が推薦されましたが、人口の増加にともない2名の増員となりました。

2月27日 青少年補導推進員の任期満了につき次の方々が推薦されました。

古谷一雄 小池国雄 養田修三